

所属機関長殿

2021年度 研究助成のご案内について

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知の如く本財団は、研究助成事業と顕彰事業を2本の柱とする事業を展開しております。

さて、2021年度の研究助成事業として「臨床検査、衛生検査及びこれに係る基礎医学に関する調査並びに研究」の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して研究助成を行います。

早速ながら、本年度の研究助成金申請書を作成しましたのでお届けいたします。

ご多忙中のところ、恐縮ではございますが貴機関の関係者にご伝達の上、2021年5月31日(月、当日消印有効)までに、申請者ご自身から本財団宛申請くださいますようお願いの程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

敬具

2021年3月吉日

公益財団法人 黒住医学研究

代表理事・理事長 渡邊



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は
東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7
TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514
URL <http://www.kmf.or.jp> E-mail: info@kmf.or.jp

公益財団法人 黒住医学研究振興財団
2021年度 第29回 研究助成事業募集要項

1. 研究助成事業の対象

研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象とし、若手の育成（原則として50歳以下）を主眼としています。（本財団ホームページ「よくあるご質問」をご参照ください。）

2. 応募資格

医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人とします。

ただし、大学教授及び国公立私立研究機関の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除きます。

3. 対象領域

- | | |
|--------------------|-------------|
| ① 臨床化学 | ② 分子生物学（医学） |
| ③ 臨床微生物学 | ④ 臨床免疫学 |
| ⑤ 検査血液学 | ⑥ 人体病理学 |
| ⑦ 疫学 ^{※1} | ⑧ 一般・生理学 |

の8つの領域とします。

注1：臨床検査・衛生検査についての集団(mass)を対象に扱う研究

4. 募集期間

2021年3月15日（月）から2021年5月31日（月）までとします。

なお、郵送の場合は当日の消印まで有効です。

5. 研究助成件数及び研究助成額

研究助成額は1件100万円を限度とし、15件以上とします。

研究期間は、原則として1年間としますが、終了しない場合は中間報告として研究・会計報告書を提出していただきます。

6. 応募方法

所定の申請書に必要事項を原則としてワープロソフトにより黒インクで記入し、本財団研究助成金選考委員会宛に送付してください。

なお、提出数は「原本と複写2部」の合計3部を送付してください。

☆財団ホームページ募集要項からWord 2013ファイルで申請書をダウンロードすることができます。

7. 審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が8つの対象領域ごとに審査したあと、選考委員会で選考審査を行い、理事会で決定します。その結果は、9月末日に本財団ホームページに掲載し、受贈者にその旨を通知いたします。

8. 研究助成金の贈呈

2021年10月29日(金)の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈します。

9. 受贈者の研究助成金受領後の義務

本財団の研究助成金募集要項により手続きを行っていただきますが、本財団の年報発行のため、次の①、②、④の事項を研究助成金受領後(贈呈式後)、1年以内に本財団事務局へ提出していただきます。

- ① 研究結果については本財団指定様式にて2,000字以内の報告書の提出
(年報・本財団ホームページ・研究業績集に掲載させていただきます。)
- ② 会計報告の提出
- ③ 研究結果を発表する口頭発表(記録あり)、論文発表等には本財団の研究助成を受けた旨の附記(英字表記の場合は、「KUROZUMI MEDICAL FOUNDATION」)
- ④ 継続研究の場合は中間報告書の提出

※「研究報告書」の本財団事務局への提出が確認できなかった場合は、当該研究課題について贈呈した研究助成金の贈呈決定の取り消し及び返還を求め、所属する研究機関の名称等の情報を公表する場合があります。

10. 申請書類の提出先

〒110-8408

東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛

(問い合わせ先)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局

TEL 03-5846-3504

FAX 03-5846-3514

E-mail info@kmf.or.jp

附記 ○必ず公益財団法人黒住医学研究振興財団のホームページから申請書をダウンロードしてご使用ください。(年度毎に改訂されますのでご注意ください。)

URL <http://www.kmf.or.jp/>

- 所属機関長は大学長、研究所長、病院長及びそれに相当する職域の長であること。
- 応募の書類は一切返却いたしません。

第 28 回研究助成金贈呈者の研究課題一覧 (2020 年度) 参考

氏 名	所 属	研 究 課 題	選考対象
あめみや けんじ 雨宮 健司	山梨県立中央病院ゲノム解析 センター検査部ゲノム検査科 主任臨床検査技師	オンコマイン Dx Target Test マルチ CDx シス テムにおける既存細胞診検体の有用性の検討	分子生物学
いのうえ ひろふみ 井上 博文	岡山大学病院 医療技術部 臨床検査技師	テラヘルツ波ケミカル顕微鏡式腫瘍量評価装置 を用いたリキッドベース検体固定法の開発	分子生物学
うすい しんいち 臼井 真一	岡山大学大学院 保健学研究科 准教授 保健学博士	冠動脈疾患における HDL サブクラスおよび HDL 代謝関連蛋白の測定意義の確立	臨床化学
うめむら ひろし 梅村 啓史	日本大学医学部病態病理学 系臨床検査医学分野 准教授 医学博士	質量分析法によるインドール血中濃度の測定と 悪性黒色腫への臨床応用	臨床化学
おおいし なおき 大石 直輝	山梨大学大学院総合研究部 医学域 人体病理学講座 講師 医学博士	節外性 NK/T 細胞リンパ腫の予後を効率よく層 別化できる病理学的スキームの開発	人体病理学
おおた ゆうすけ 太田 悠介	浜松医科大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師	マルチオミクス解析を用いた薬剤耐性を引き起こ す小型コロニー形成細菌の臨床検査法の確立	臨床微生物学
おおやま かなめ 大山 要	長崎大学 生命医科学域 (薬学系) 准教授 薬学博士	新型コロナウイルス(SARS-CoV2)感染後に出 現する抗体が認識するウイルス抗原についての 研究	臨床微生物学
おくでら こうじ 奥寺 康司	横浜市立大学医学部 病態病理学講座 准教授 医学博士	病理画像解析を用いた分類不能間質性肺炎の 予後指標の確立	人体病理学
こさい こうすけ 小佐井 康介	長崎大学病院 検査部 助教 医学博士	赤外分光法を用いた新しい薬剤耐性菌タイピン グ法の微生物検査への活用	臨床微生物学
さわい せつ 澤井 摂	千葉大学大学院医学研究院 機能形態学 助教 医学博士	脱髄型ギラン・バレー症候群における抗 moesin 抗体の病的意義の解明と ELISA キットの開発	臨床免疫学
しもむら だいき 下村 大樹	公益財団法人天理よろづ相 談所病院臨床検査部 副技師長 医学博士	凝固波形成解析を用いた凝固時間延長の要因な らびに凝固線溶波形成解析を用いた血栓・出血傾 向の鑑別システムの構築	検査血液学
むらかみ こうすけ 村上 耕介	国立感染症研究所 ウイルス第二部 主任研究官 農学博士	成人由来ヒトノロウイルスの感染効率改善による ノロウイルス培養系の改良の研究	臨床微生物学
もりもと こうぞう 森本 耕三	公益財団法人結核予防会 結核研究所抗酸菌部 研究員 M.D. Ph.D	大規模抗酸菌データ解析による非結核性抗酸 菌症のサーベイランス体制を構築する研究	疫学
やまぐち こういち 山口 孝一	恵寿金沢病院 臨床検査技師	好中球細胞外トラップス (NETs) の定量化を目的 とした検討	検査血液学
ゆ さ のぞみ 遊佐 希	東京大学医科学研究所附属 病院ゲノム診療部 臨床検査技師	5コピーから高感度定量が可能な新型コロナウイ ルス PCR 検査法の標準化と人材育成を目的と した萌芽的研究	臨床微生物学

総申請者数 220 名
研究助成金総額 1,500 万円(15 名)